

令和 5 年度の委員会運営方法について

1 付議事件

オープンイノベーション等による企業支援や誘致促進、グローバル都市の実現、文化芸術創造都市や観光・MICEの推進等に関すること。

(参考：過去の特別委員会における調査・研究テーマ)

年度	調査・研究テーマ
令和 4 年度	横浜の魅力を活かした選ばれるグローバル都市・横浜の実現について
令和 3 年度	「横浜における持続可能な観光都市の在り方」について
令和 2 年度	感染症等を契機とした新たな時代の都市活力の在り方

2 市会運営委員会（平成24年5月8日開催）での特別委員会運営方法に関する決定事項

- ・付議事件の調査・研究を目的として、委員間の意見交換、事例視察や参考人意見聴取などを行う。
- ・委員会報告書は、付議事件に対する結論や一定の方向性を得たとき又は議員任期が満了するときに議長に提出するものとする。

3 令和 5 年度調査・研究テーマ案について

企業誘致や観光施策の推進によるさらなるにぎわいの創出を目指す都市・横浜の実現について

(テーマ選定理由)

新型コロナウイルス感染症も 5 類感染症に移行され、感染症拡大前の生活に戻りつつある中、持続可能な横浜経済を実現するためには、国内外企業の誘致やスタートアップへの成長支援、生産年齢人口の呼び込みなど新たな担い手の創出や多くの人が集まるイベントを活用した戦略的な宿泊・回遊促進策への取組が喫緊の課題となっている。

そのためには、都心臨海部を核として、産学公民の多様なプレイヤーと連携し、横浜の優れたビジネス環境や立地メリットを積極的に発信することで、持続的に新事業を生み出し、国内外から人・企業・投資を呼び込み、稼ぐ（稼げる）ビジネス環境を整えること。また、イベント主催者や商業施設等の民間事業者と連携したプロモーションなどを行い、イベント前後の回遊を促進させるとともに、宿泊事業者と連携し、イベント開催時の宿泊につなげるなど、様々な事業者が参画し、にぎわい創出及び稼ぐ（稼げる）仕組みづくりが必要となってくる。

そこで、令和 5 年度はこのテーマに基づき、本市の取組の検証、他都市の取組の調査及び有識者からの意見聴取などを実施し、多方面に調査、研究を行うこととした。